

市政報告会開催報告書

焼津市議会議員 様

議員氏名 藤岡 雅哉

令和 7 年 8 月 30 日、31 日に市政報告会を開催しましたので、概要について報告いたします。

開催日	開催場所	参加された市民	アンケート回収
令和 7 年 8 月 30 日	小川地域交流センター	17 人	17
令和 7 年 8 月 31 日	小川東公会堂	11 人	11

1. 市政報告会の告知方法

後援会郵送（360）新聞折込（小川地区・焼津地区 8,250 戸）小川居場所などで配布（約 450）
SNS 配信（公式 LINE・Instagram・Facebook・Threads）

2. 参加状況

参加者 性別と年代

男性：13 名（46%）女性 15 名（54%）

30 代 1 名 50 代 3 名 60 代 8 名（29%）70 代 7 名（25%）80 歳以上 9 名（32%）

今回は特に年齢層の割合が高かった。小川東公会堂会場は 80 歳以上が 5 名と会場の 45%を
占め、地元地域の高齢者に関心が高いことが分かる。

3. アンケート結果

今回は「議会だよりアンケート」の協力をお願いしたことから、毎回お願いしていた「市政報告会アンケート」は実施しておりません。

4. 「やいづを語る市民の会」プログラム（報告会資料は藤岡まさや公式ホームページに掲載）

- ① 市政報告：令和 7 年度予算・ふるさと納税・焼津市立総合病院・津波避難指示他
- ② 活動報告：市民要望を自治会と市へ届けた案件・市民ワークショップからの総合計画提言
- ③ 議会だよりアンケートご協力のお願い
- ④ 意見交換：津波避難指示・焼津市立総合病院・その他自由テーマ

5. 後半の意見交換コーナーで寄せられた声

津波避難指示について

- ✓ 自治会役員ですが、他の役員から「工作中だったけど、どうすべきだった？」との問い合わせがあった。どのような行動が正しかったのか。
- ✓ 津波避難タワーの暑さ対策はどうなっていたのか。
- ✓ 町内会役員として地域の住民と八反田タワーに避難した。暑かったため、津波避難指示が解除される前に帰宅を促したが、正しい判断だったのか。
- ✓ 津波避難指示の出された自分の住む地域は、ハザードマップ上、南海トラフ巨大地震など最大級の津波で 30 cm の場所であるが、なぜ一律に避難指示が出されたのか。
- ✓ 本当に津波に襲われたら水が引くまでに長時間がかかるが、非常持出品を持参した住民は少ない。住民への備えを周知すべきだと思う。
- ✓ 広報では「津波なのですぐに避難するよう」放送され、慌てて飛び出した。到達予測など、

市民が判断するための情報をもう少し欲しかった。

防災全般について

- ✓ 町内会長として、自治会長から要支援者名簿を渡された際、災害発生時に世帯家族調べと安否確認カードをマッチングさせるための資料だと言われたが、割り印で封入され、開封せず鍵のかかる場所に保管する様言われたので、「それなら配布の意味が無いと」伝えた。それに対し、町内を良く知るのは町内会長なので、との話だったが、300世帯以上ある町内で、災害時に開封し、どうやってマッチングさせればよいというのか。個人情報保護は分かるが、普段から町内にどのような方がどのような状態で住んでいるのか把握すべきだと思う。

焼津市立総合病院について

- ✓ 建設の計画を確認してほしいが、健診センターが建物内に予定されているか。今後予防医療が重要になる中で、健診センターの拡張性が大切になる。建物内ではなく別棟に建設することで、将来的な拡張が可能となるため、別棟にするよう提案してほしい。
- ✓ 看護師の離職率が高いと聞いている。3年くらい勤務すると別の病院に移ってしまう。焼津市立総合病院が働く人にとって魅力的で、離職しない工夫をすすめてほしい。
- ✓ 新聞記事で焼津市立総合病院の裁判記事を読んだ。原因はねん挫と診断された患者が数か月後に実はアキレス腱の断裂だったことが分かり賠償を求めたが、200万円で和解したとの事。誤診などが無く、市民が安心して受診できる病院にしてほしい。

その他

- ✓ 自治会や民生委員のなり手不足の解消を考えてほしい。そもそも自治会を脱退したいとの声も多い。それは役が回ってくることを避けたいため。民生委員が高齢者のお宅を定期的に巡回するなど、従来と同じ仕事を変えていかないと引き受けては無くなってしまう。

振り返りと次回への検討事項

- ✓ 前回開催時に合計参加者が31名であり、倍の60名を目指して、新聞折込の範囲を拡大したが、結果として参加人数が減ってしまった。暑い夏の開催もマイナス要因としてとらえ、開催時期を検討すると同時に、市民により関心を持ってもらえるテーマや案内方法も工夫したい。
- ✓ 以前より参加者が高齢者に偏る傾向にあり、今回はより顕著。SNSなどでも呼びかけているが、広く一般に呼びかけるだけでなく、個別にお誘いするなど募集方法を再考する。
- ✓ 今回の報告では、市政（令和7年度予算、ふるさと納税、焼津市立総合病院、津波避難指示など）の説明時間が多く、議員としての活動報告ウェイトが低くなってしまった。市民から議員の活動も時間を割いて報告する様要望をいただいたため、次回の参考にしたい。
- ✓ 広報やいづや議会だよりでは知る事のできない内容や、市民との会話の中で、疑問や質問が多い点を分かりやすく説明したことで、参加者からは「知らないことを知る事ができて良かった」など評価の声をいただいております、この視点を忘れず継続したい。
- ✓ 約30分の意見交換の時間が短いとのご意見を複数いただいた。これは主に取り上げたテーマについてもっと深掘りしたい、もしくはより多くのテーマを意見交換したい方のご意見であったため、次回以降は、意見交換そのものの時間を延長するより、一旦終了した上で、会場に残った方で意見交換の時間を追加するなど検討したい。（発言しない市民の方には長時間の意見交換が苦痛になってしまうと想定されるため）

* 上記に書ききれない場合は、適宜別紙を添付してください。

* 参考資料等がある場合は、添付してください。